



大分市の住みやすさを支える自然・食・産業

財前 ここからは大分市の魅力、誇りについて大いに語っていただきたいと思えます。野尻議長は、他都市を訪問する機会も多いかと思えますが、大分市の魅力、誇りと感じるものは何だとお考えですか。

議長 何よりも「食」ですね。他都市にもおいしい食材はたくさんあります。やはり大分が一番と感じます。「関あじ・関さば」をはじめとする海の幸、「りゅうきゅう」、「とり天」といった郷土料理など、やはり大分の食は素晴らしい。また、国内有数の新産産都市でもあるし、緑にあふれ、豊かな海に恵まれた自然豊かな都市でもあり、さまざまな特

色を持つ魅力あふれる都市だと思います。

財前 平子社長は高校をご卒業されたから、県外で暮らしているわけですが、「外から見た」大分の印象についてはいかがですか。

平子 大分は、一言で言うと「期待値」より「経験値」の方が高い都市だと思えます。というのも、魅力的な都市ランキングなどありますが、大分は残念ながら上位に入っていません。ただ、実際に行ってみたり、住んでみたりすると「思っていたよりすごく良かった」という人は大変多い。これは、大分の魅力が全国的にまだまだ十分に伝わっていないことが要因ではないかと思えます。県民性にしてもこだわりが少なく、何

でも受け入れる柔軟性がありますし、年中温暖な気候で過ごしやすいですし、何ととっても食べ物がおいしい。こういった住みやすさに、大分の伸び代がたくさんあると感じています。

市長 私もいろいろな都市で暮らした経験がありますが、やはり大分市の住みやすさは魅力であり、誇りであると感じています。ただ、この住みやすさにはしっかりと裏付けがあつて、工業では、製造品出荷額等が九州で1位、全国で11位。市内には鉄鋼や石油化学、銅の精練、ITや精密機械などの企業が進出しており、関連する中小企業やニッチトツプ企業も数多く集積しています。漁業でも「関あじ・関さば」、農業でも「大葉」や「にら」、「みつば」といった

豊かな海と大地が育んだ特産品である大分ブランドが数多くあります。こういった産業力の強さが背景にあって、相対的に豊かな生活を支えている。

全国的に人口減少社会を迎えていると言われていますが、本市の人口は「自然増」、「社会増」ともに維持しており、両方を維持している都市は全国1、718市町村のうち160程度しかありません。本市の誇りが一つの形として表れているのではないのでしょうか。

次世代に引き継がれる歴史・文化・祭り

財前 佐藤市長、大分市には先人より受け継いできた歴史や文化、祭りが多くありますが、いかがですか。

大分市が輩出した全国、世界で活躍する人材

財前 佐藤市長、大分市はさまざまな分野で活躍している人材を多数輩出していますが、いかがですか。

市長 本市が輩出した人材はたくさんいますが、第81代内閣総理大臣の村山富市さんや建築家の磯崎新さん、市観光大使で女性アイドルグループHKT48に所属している指原莉乃さん、市スポーツ大使でプロ野球選手の内川聖一さんがいますね。阪神タイガースを引退した背番号16安藤優也さんは大分雄城台高校の後輩なんです(笑)、オリンピックで銅メダルを取りました。芸術の分野では、文化勲章を受章した日本画家の福田平八郎さんや高山辰雄さんですね。皆さん偉大な功績を残してくれて、感動を与えてくれた市民の誇りです。後に続く人材がこれからもどんどん出てくるかと思えますが、例えば市消防局の大野ひかるさんは世界でもトップクラスの空手の形の女子選手で、2020年の東京五輪を目指して、消防の仕事しながら練習に取り組んでいます。

財前 野尻議長は、次世代の人材育成についてどのようにお考えですか。



議長 それと、毎年11月に行われる「大野川合戦まつり」。戦国時代末期、島津軍と大友・四国連合軍との戸次川の合戦は、2、300名以上の武将が亡くなった壮絶な戦いです。こうした地域の歴史を後世に語り継いでもらいたいということで、この祭りが始まりました。「ななせの火群まつり」も柱松や万灯籠で稲に寄ってきた虫を駆除するという地域の風習を祭りにしています。この他にも「関の鯛つりおどり大会」などありますが、どれも地域の力を感ぜます。数多くの祭りが、次の世代に受け継がれ、地域がますます活性化していくことを期待したいですね。